

2026年度 北海道大学大学院
文学院修士課程入学試験（前期）

試験科目名	専門試験（西洋史学）
出題の意図	大学院における専門的な研究を遂行するうえで必要な諸能力を備えているかどうかを判断することをねらいとする。具体的には、古代から近現代にいたる西洋史学に関する基礎的な知識を問うとともに、それらの知識をもとにしてさまざまな歴史学上の概念操作を行える論理的思考能力を保持しているかどうかを試すことにしている。

2026年度
北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）
（専門試験） 西洋史学 全1枚のうち1枚目

この試験では、試験問題 1枚、解答用紙 3枚を配付する。
解答用紙は、1問につき1枚を使用すること。

以下の設問に答えなさい。

問1. 支配者集団によって権力関係を強く規定された状況下で、被支配者集団（従属者集団）が既存の社会秩序を攪乱するためにしばしば示す一見矛盾に満ちた振る舞いや主張を、政治学者で人類学者のジェイムズ・C・スコットは著書『支配と抵抗の技法』のなかで「隠されたトランスクリプト（hidden transcript）」という概念で説明した。同概念の含意を踏まえつつ、西洋史における具体的な事例について論じなさい。

問2. ヨーロッパにおける同君連合の例を挙げ、その君主と構成政体との関係について、最新の研究動向を踏まえて具体的に論じなさい。

問3. 以下の語句について、簡潔に説明しなさい。

- (1) デロス同盟
- (2) コンスタンツ公会議
- (3) 審査法
- (4) フランス七月王政
- (5) セオドア＝ルーズヴェルト